

「うちどく」通信～2017.8～〔筑南小学校 毎月7日はうちどくの日〕



1年 こうへい 『いいことってどんなこと』神沢利子 (きょうかしよ) Eカ 読んだ人:お母さん

こうへい: しぜんはいつもたのしそうでいいなとおもいました。
お母さん: 主人公の女の子が自然や動物に話しかけている姿が、素直でかわいい心あたたまる絵本だなおもいました。

1年 ゆうな 『アランの歯はでっかいぞこわーいぞ』ジャーヴィス Eシ 聞いた人:お母さん

ゆうな: はがとれるところが、おもしろかったです。
お母さん: 入れ歯だったことがすごくおもしろくて、強いだけじゃさみしいと気づくアランがかわいかったです。

2年 りんご 『おっきょちゃんとかっぱ』長谷川摂子 (きょうかしよ) Eハ 聞いた人:お母さん

りんご: おかあさんとおとうさんのことをわすれたから、ちゃんと帰れるかわかりませんでした。けど、ちゃんとおうちにかえれてよかったなとおもいました。
お母さん: おっきょちゃんが、カッパのガータロにであって、ガータロの家族になり、ほんとうのおかあさんとおとうさんをわすれてしまい、おかあさんがつくってくれた人形を見て思い出し、帰りたいと泣いてしまい、ぶじにおうちに帰れてよかったです。

3年 まなと 『でんしゃがはしる』山本忠敬 (八女市立図書館の本) 読んだ人:お母さん

まなと: 山のでせんにのってみたいです。
お母さん: うちどくのために、八女市立図書館に本を借りにいきました。大好きな、“でんしゃ”の絵本をセレクトしました。まだ行ったことのない東京に憧れを抱いているようです。山手線の外回り、内回りに想像がふくらんでいます(笑)

3年 たける 『どうぶつのはなちゃん ライオン』ますいみつこ (きょうかしよ) 48ク

聞いた人:お母さん

たける: ライオンのあかちゃんは、3さいがおとななんてすごいです。
お母さん: ライオンの赤ちゃんが産まれてから大人になるまでの物語でした。ライオンのオスは、狩りがヘタで、ふだんは狩りをしないことにおどろきました。

4年 あおり 『マイヤー夫人のしんぱいのたねは?』ヴォルフ・エアブルッフ Eエ

聞いた人:お母さん

あおり: マイヤーさんの夫人は心配しょうで、夫人が畑で鳥を見つけてえさをやり、とびかたを教えるとき、木から夫人がとんだのがびっくりしました。鳥もまねしてとんだのでよかったです。
お母さん: 心配性のマイヤー夫人が小鳥の世話をすることで、毎日考えていた心配事がなくなり、楽しく育てていくのがほほえましかったです。

4年 あきお 『でんでんむしのかなしみ』新美南吉 Eニ 聞いた人:お母さん

あきお: でんでんむしのかなしみは、一人じゃないのだなとおもいました。
おかあさん: 自分だけがかなしみをかかえているとばかり思っていたが、みんなが持っているとわかって安心したようでした。何でもみんなと同じと思えば安心できるんですね。

【8/25 提出分】

提出数/人数 (欠席)	提出数/人数 (欠席)
1年 23/23 ☆GOOD☆	4年 25/25 ☆GOOD☆
2年 18/19	5年 18/20
3年 20/21	6年 27/28
	全校 131/136



5年 はるな 『だじゃれ世界一周』長谷川義史 Eハ

聞いた人:お母さん

はるな: ぜんぜん知らない国の名前があったので、その国の名前もおぼえられるようになりたいです。いろいろな国のとくさんぶつや有名なものもおぼえたいです。
お母さん: この本をきっかけに、世界に興味をもって、楽しく世界各国を覚えられたいと思います。

5年 けいた 『給食番長』よしながこうたく Eヨ

聞いた人:お母さん

けいた: ぼくも、こんなふう給食をのこしたら先生がかなしむので、残さないようにしたいです。
お母さん: 読んでいる途中で右下に小さく書いてあるところを読んだら、博多弁バージョンでした(笑) 身近な方言で読んでいくと、スラスラ読めてとても楽しかったです。

6年 ななこ 『バスラの図書館員』

(きょうかしよ) Eウ 聞いた人:お母さん

ななこ: 黄金の山よりも、本は価値のあるものとアリアさんは言うから大切なんだなとおもいました。
お母さん: 戦争の火から本を守りたいというアリアさんの信念がすごいとおもいました。

6年 こはる 『サボテンの花』

聞いた人:お姉さん

こはる: サボテンは、とても心やさしいと思います。砂漠に一本いるだけで、旅人一人の大切な命を助けたから、砂漠にサボテンがいることはむだではないとおもいました。
お姉さん: むだなことなど何一つないとおもいます。なにげなく立っているサボテン、人助けになってよかった。